



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・  
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1999, 72(3):  
422-422

ISSUE DATE:

1999-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96616>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成11年6月20日発行(毎月1回20日発行)  
物性研究 第72巻 第3号

ISSN 0525-2997

**vol.72      no.3**

# 物性研究

**1999 / 6**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

#### [原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
  - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率約86%)
  - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
  - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
  - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

## 編集後記

私は、古書店にぶらりと立ち寄るのが好きである。変色した背表紙に書かれた旧字体の題名を読んでいると、現代の喧噪や流行といったものが人類の歴史の中では、取るに足りないことばかりのように思えてしまう。ある日のこと、古書店に入るなり、目に飛び込んできた書物があった。マリー・キュリー自身が書いた『ピエール・キュリー伝』である。これまで、キュリー夫人伝は、何冊も読んでいたが、執筆者が現代人ということもあって、深い感銘を受けることはなかった。ところが、この書物にはマリー・キュリーのピエールへの愛が宿っている。そして、学問への情熱が随所に見られ、読者を圧倒する。湯川秀樹博士も、本書を読んで、「自分にはまだまだ純粋でないところがある」と述懐している程である。

これほどの名著でありながら、現代の風潮の中では、とうの昔に絶版となり、まして少年・少女向けへの翻訳など永遠の夢と思われてしまう。しかし、現代を取り巻く無気力・無関心・無感動・無責任といった情けない状況の中で、私達が目覚め、新たな展望を切り開くには、こうした書物を一刻も早く復刻しつつ、幅広い年代層に渡る多くの人々の目に触れる機会を高める必要がある。もはや、出版社の自覚を待つのでは手遅れである。何よりもまず、私達研究に携わる者が、本物の科学を構成して見せなければならないと思う。

そのためにも、本誌『物性研究』が、ささやかながらも科学の発展に貢献できるよう、これからも努力していきたいものである。読者の方々の、積極的な投稿を期待したい。

(あした天気にな〜れ)

### 〔物性研究〕

#### 編集長

関本 謙 (京大・基研)

#### 編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)  
藤本 聡 (京大・理・物理)  
水口 毅 (京大・理・物理)  
山田 耕作 (京大・理・物理)  
吉村 一良 (京大・理・化学)  
早川 尚男 (京大・人環)  
村瀬 雅俊 (京大・基研)  
小嶋 泉 (京大・数研)

#### 各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)  
本堂 毅 (東北大・理・物理)  
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)  
堀田 貴嗣 (東大・物性研)  
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)  
山田 鏑二 (信州大・理・物理)  
平田 文男 (分子科学研)  
吉岡 英生 (名大・理・物理)  
池田 研介 (立命館大・理工・物理)  
菊池 誠 (阪大・理・物理)  
市岡 優典 (岡大・理・物理)  
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

## 編集後記

私は、古書店にぶらりと立ち寄るのが好きである。変色した背表紙に書かれた旧字体の題名を読んでいると、現代の喧噪や流行といったものが人類の歴史の中では、取るに足りないことばかりのように思えてしまう。ある日のこと、古書店に入るなり、目に飛び込んできた書物があった。マリー・キュリー自身が書いた『ピエール・キュリー伝』である。これまで、キュリー夫人伝は、何冊も読んでいたが、執筆者が現代人ということもあって、深い感銘を受けることはなかった。ところが、この書物にはマリー・キュリーのピエールへの愛が宿っている。そして、学問への情熱が随所に見られ、読者を圧倒する。湯川秀樹博士も、本書を読んで、「自分にはまだまだ純粋でないところがある」と述懐している程である。

これほどの名著でありながら、現代の風潮の中では、とうの昔に絶版となり、まして少年・少女向けへの翻訳など永遠の夢と思われてしまう。しかし、現代を取り巻く無気力・無関心・無感動・無責任といった情けない状況の中で、私達が目覚め、新たな展望を切り開くには、こうした書物を一刻も早く復刻しつつ、幅広い年代層に渡る多くの人々の目に触れる機会を高める必要がある。もはや、出版社の自覚を待つのでは手遅れである。何よりもまず、私達研究に携わる者が、本物の科学を構成して見せなければならないと思う。

そのためにも、本誌『物性研究』が、ささやかながらも科学の発展に貢献できるよう、これからも努力していきたいものである。読者の方々の、積極的な投稿を期待したい。

(あした天気にな〜れ)

### 〔物性研究〕

#### 編集長

関本 謙 (京大・基研)

#### 編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)  
藤本 聡 (京大・理・物理)  
水口 毅 (京大・理・物理)  
山田 耕作 (京大・理・物理)  
吉村 一良 (京大・理・化学)  
早川 尚男 (京大・人環)  
村瀬 雅俊 (京大・基研)  
小嶋 泉 (京大・数研)

#### 各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)  
本堂 毅 (東北大・理・物理)  
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)  
堀田 貴嗣 (東大・物性研)  
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)  
山田 鏑二 (信州大・理・物理)  
平田 文男 (分子科学研)  
吉岡 英生 (名大・理・物理)  
池田 研介 (立命館大・理工・物理)  
菊池 誠 (阪大・理・物理)  
市岡 優典 (岡大・理・物理)  
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

物 性 研 究    第72巻第3号（平成11年6月号）    1999年6月20日発行

|     |             |           |                                     |
|-----|-------------|-----------|-------------------------------------|
| 発行人 | 村 瀬 雅 俊     | 〒606-8502 | 京都市左京区北白川追分町<br>京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内 |
| 印刷所 | 昭 和 堂 印 刷 所 | 〒606-8225 | 京都市百万遍交差点上ル東側<br>TEL(075)721-4541~3 |
| 発行所 | 物性研究刊行会     | 〒606-8502 | 京都市左京区北白川追分町<br>京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内 |

年額 19,200円

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

|     |                       |          |
|-----|-----------------------|----------|
| 年会費 | 1st Volume (4月号～9月号)  | 4,800円   |
|     | 2nd Volume (10月号～3月号) | 4,800円   |
|     |                       | 計 9,600円 |

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類 (請求、見積、納品書) が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

**雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。**

## 物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 72-3 (6月号) 目 次

○研究会報告

「第6回『非平衡系の統計物理』シンポジウム」..... 235

○編集後記..... 422



物 性 研 究 72-3 (6月号) 目 次

○研究会報告

「第6回『非平衡系の統計物理』シンポジウム」..... 235

○編集後記..... 422